



BLUE BIRD

学校だより 第8号

令和6年11月1日発行
東京都立青鳥特別支援学校
校長 高橋 馨

〇〇の秋 ～体験活動 と 協働的な学び～

校長 高橋 馨

秋のお彼岸に合わせて突然に花茎（かけい）を伸ばし花が咲く彼岸花（曼珠沙華、リコリス）。秋分の頃、放射状に大きく広がる鮮やかな紅色を目にすることで、夏から秋へと季節の移り変わりを感じていました。この彼岸花ですが、今年は全国的に一週間から10日、開花が遅れたそうです。秋分なので日照時間に左右されると思い込んでいましたが、どうやら地中の温度も関係しているそうです。この話を聞いた時、改めて長く続く今年の異常な暑さを実感させられました。

「〇〇の秋」と、いろんな例えがある秋は、子どもたち学習活動が充実する季節でもあります。秋を飛ばして、夏から冬へと季節が変わりそうな今年の2学期ですが、生徒たちは日々の学習活動だけでなく、様々な行事や体験活動による学びにも取り組んでいます。子ども達にとって一番思い出に残る特別な行事、宿泊学習もありました。9月に行われた2年生の金沢方面の修学旅行、そして1年生の横浜・八景島への移動教室は、雨や暑さが心配される場面もありましたが、どちらも計画通り無事に実施することができました。事前の準備等、御家庭にも様々な面で御協力いただきましたこと改めて感謝申し上げます。修学旅行には校長も参加しました。北陸新幹線の車窓から見る青々とした日本海、バスレクでの仲間との盛り上がり、恐竜博物館の迫力ある展示や、金沢の街並み、そして温泉や食事、レクリエーションなど友達と過ごすホテルでの時間。友人や先生と楽しそうに活動する子どもたちの、学校とは違う様子が、笑顔が、とても素敵でした。

ところで、この体験活動ですが「令和の日本型学校教育」の実現すべき姿、「協働的な学び」の重要な要素として示されています。「教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動など、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことの重要性」が、今後は増々高まってきます。全ての学習活動が体験的な活動を起点とし、そこから生じる興味関心が学ぶ意欲となり、自らの学びへと繋がっていく。本校も、そうした学びを強く意識し、日々の学習活動に取り組んで参りたいと考えております。長い2学期も半分が過ぎ後半に入りました。引き続き、本校の取り組みへ御理解と御協力をお願いいたします。

地域清掃

池尻まちづくりセンターの方々にも御協力いただき、総合的な探究の時間を活用して、普通科と職能開発科の全学年で地域清掃を行いました。世田谷公園と世田谷区立子供のひろば公園、都営団地前の歩道を清掃しました。思いのほか落ち葉が溜まっていましたが、みんなで協力して、綺麗にすることができました。これからも、自分たちが住む地域の方々に喜んでもらえる活動を行い、地域との絆を深めていきます。

(森田高彰)



八丈分教室 現場実習

八丈島には、伝統の絹織物「黄八丈」があります。3年生の現場実習は、黄八丈のアート作品を制作する事業所で、リサイクル着物をほどこ作業を行いました。細かい糸を見つけながら、布を切らないよう糸だけを切ります。「集中してがんばった」と生徒が言うように数時間継続して作業に取り組みました。ほどいて巻きなおした着物は、つまみ細工などの新しい作品に生まれ変わります。

(佐藤 美香)



言語活動及び読書活動の充実事業 ～特集：本校の図書活動について～

本校は、今年度「言語活動及び読書活動の充実事業」の研究指定校として、読書環境の整備や言語活動及び読書活動の充実に関する研究実践を行ってきました。まだまだ始まったばかりの段階ではありますが、今回、学校だよりを通して、保護者の皆様にもその取り組みについてお知らせいたします。

(三上宗佑)

今年度のゴール

図書を通じた交流をスタートする

仮設校舎での6か年計画

- 1年目 図書の整理・貸出開始
- 2年目 図書を通じた交流のスタート
- 3～4年目 図書交流の活性化・読書活動の充実
- 5～6年目 校舎移転後の計画、読書活動充実事業の発展



〇取組1 図書室の利活用を促す



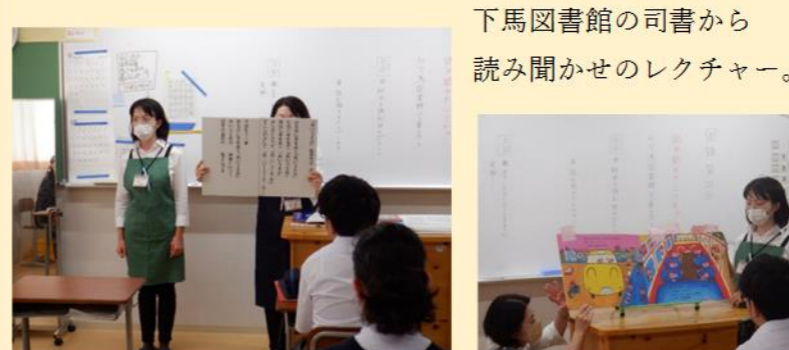
誰もが借りやすい「貸出システム」と、どんな本があるか分かる「整理された図書館棚」。

〇取組2 カフェと図書のコラボレーション



カフェに読書とアート（生徒作品）を楽しめるスペースを設置。

〇取組3 近隣図書館との連携



下馬図書館の司書から読み聞かせのレクチャー。

下馬図書館とは今後も書籍の借用など、連携していきます。



〇取組4 読み聞かせを軸にした地域交流



練習を重ねて、もみの木保育園の園児へ読み聞かせを行いました。